

第1号様式

(第1面)

開発事業地球温暖化対策計画

事業者の氏名 又は名称	川崎市長 福田紀彦			
主たる事務所又は 事業所の所在地	210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地			
開発事業の名称	初山住宅建設計画			
開発事業を行う 土地の位置及び区域	川崎市宮前区初山二丁目16番			
開発事業の目的	住宅団地の更新(建替え)			
工事の着手 予定年月日	2020年 7月			
工事の完了 予定年月日	2037年 3月			
開発事業の概要	区域面積	約20,894m ² (うち開発区域面積: 約15,774m ²)		
	床面積	約13,504m ²		
主な予定建築物の内容	棟番号	用途	床面積	備考
	A-南棟	集合住宅	約1,048m ²	
	A-北棟	集合住宅	約1,289m ²	
	B-南棟	集合住宅	約2,454m ²	
	B-北棟	集合住宅	約2,795m ²	
	C-南棟	集合住宅	約2,272m ²	
	C-北棟	集合住宅	約1,836m ²	
	E棟	集合住宅	約1,682m ²	
	集会所	集会所	約128m ²	
	床面積の合計			約13,504m ²

(第2面)

温室効果ガスの排出の抑制等を図るため実施しようとする措置の内容	エネルギーの使用の合理化	<ul style="list-style-type: none"> ・共用部分の照明、給湯等の設備機器は、可能な限りエネルギー消費量の少ない機種を導入する。 ・断熱性能に優れた部材の採用等により、省エネルギーや冷暖房効率に配慮した構造とする。 ・入居者に対しては、駐車場内のアイドリングストップ等の遵守について、チラシ等により周知を行い、エネルギー消費量の低減に努める。
	ヒートアイランド現象の緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り緑化を図り、緑化等により、人工被覆の改善に努めるとともに、緑陰の形成による日射遮へい及び蒸散作用による気温上昇の抑制を図る。 ・共用部分の照明、給湯等の設備機器は、可能な限りエネルギー消費量の少ない機種を導入し、温度上昇の抑制を図る。 ・断熱性能に優れた部材の採用等により、省エネルギーや冷暖房効率に配慮した構造とし、温度上昇の抑制を図る。
	交通環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者に対しては、駐車場内のアイドリングストップ等の遵守について、チラシ等により周知を行い、交通環境に配慮する。
	緑地の保全と緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「川崎市緑化指針」における緑化面積率及び「川崎市環境影響評価等技術指針」における指定開発行為に係る緑被率の目標値を上回る緑化計画とする。 ・工事施工上の配慮により、極力既存樹木の保全を検討する。 ・建築物の日影となる緑化地には耐陰性のある種を植栽する等、日照条件に応じた樹種を選定し、樹木の健全な育成に努める。
	工事に係る配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・建設機械及び工事用車両は、低燃費型を積極的に利用する。 ・建設機械は、アイドリングストップ、高負荷作業の禁止と効率的な機械操作を徹底するため、運転者への指導を実施する。 ・工事用車両については、運送事業者等に対し、エコドライブの実施を要請し、二酸化炭素の排出及びエネルギー使用の低減に努める。
	その他	
再生可能エネルギー源の利用	検討結果	<input type="checkbox"/> 導入する <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない
	導入機器	

(第3面)

特定建築物の 評価の目標	棟番号	評価の目標
	A-南棟	総合評価 B+以上
	A-北棟	総合評価 B+以上
	B-南棟	総合評価 B+以上
	B-北棟	総合評価 B+以上
	C-南棟	総合評価 B+以上
	C-北棟	総合評価 B+以上
	E棟	総合評価 B+以上
備考		

- 備考 1 用途の欄は、次から当該予定建築物の主たる用途を記入してください。
[事務所/学校/物販店/飲食店/集会所/工場/病院/ホテル/住宅/その他]
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 特定建築物の評価の目標については、予定建築物が川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例（平成11年 川崎市条例第50号）第127条の4第1項の特定建築物に該当する場合、同項第5号に規定する環境性能の評価の目標について記載してください。